

究極の売国法 自公・維が強行

カジノ 実施法廃止せよ

提案者全員に米企業からカネ

「立法の動機が不純で、害悪だけをまき散らす『売国』法案だ」。大門実紀史参院議員は、政府と自公・維新によるカジノ実施法強行を糾弾しました（7月20日、本会議）。

「究極の『売国法』——米カジノ企業が、カジノ解禁推進法（2016年12月可決）を提案した国会議員に『脱法献金』をしていたことが発覚。大門氏は「立法の根拠が揺らぐ大問題」と批判しました。違法性クリアできず

カジノ実施法は違法な民営賭博を合法にするもの。合法化のためには「目的の公益性」「射幸性」



討論に立つ大門参院議員（7月20日、参院本会議）



討論に立つたつみ参院議員（7月18日、参院本会議）

大門・たつみ議員徹底追及

「程度」など8要件をクリアする必要がありますが、大門氏はそれを満たさないことを論証。経済振興どころか経済損失が大きい、パチンコでは出玉規制など射幸性制御の仕組みがあるがカジノにはないなどを指摘しました。

たつみコタロー参院議員は、大阪府・市がカジノの立地予定地を大阪市の夢洲（ゆめしま）とし、大阪万博を同地に誘致していることについて「多様で心身ともに健康的な生き方」をテーマとする万博とカジノは相いれない」とのべました（17日、内閣委）。

党大阪府委がアピール
党大阪府委員会は「大阪にカジノはいらぬ。カジノ実施法は廃止を」とのアピールを発表しました（8月4日）。

森友 内部文書を暴露し追及

「森友・加計問題の追及で気を吐いた野党は共産党だった。独自に内部文書入手し政府を攻め立てた」（「朝日」7月24日）。その立役者が、森友追及24回の宮本岳志衆院議員、今国会だけで24回のたつみコタロー参院議員です。

「共産党なら安心して託せる」と寄せられる資料をもとに、衆参連携して追及し、財務省も国交省も答弁不能、「万事休す」にまで安倍政権を追い詰めました。

宮本・たつみ氏

共同提出法案20本

野党共闘前進

通常国会で野党共闘は画期的に進みました。野党共同の提出法案は17本、昨年の特別国会（11～12月）を含め20本に。全原発の速やかな停止・廃炉を掲げた「原発ゼロ基本法案」を市民団体とも話し合いながら共産・立憲、自

由、市民の4党で提出できたのは画期的でした。被災者生活支援法改正案は、被災世帯への支援金の最高額を300万円から500万円に増額。支給範囲も現行の全壊世帯から半壊世帯への拡充をめざしています。

野党が結束して安倍政権を追い詰める足場になったのが野党国対委員長連絡会（野国連）。今国会から毎週水曜日に定例化。野党合同で省庁から聞き取りを行う「野党合同ヒアリング」は11テーマで118回にのびりました。



「原発ゼロ法案」を提出する野党国会議員（7月9日、国会内）

憲法 9条改憲発議を阻止 審査会は3回、6分5秒

安倍首相は通常国会に自民党改憲案を示し、改憲論議の加速化を狙いました。しかし、「3000万署名」が大きく広がるなか、6野党・会派が「憲法を守らない安倍政権には憲法を論議する資格がない」ことで結束。その結果、憲法審査会の開催は衆参院で3回、時間はたった6分5秒。今国会での改憲発議を阻止しました。

働き方 うそ暴き追いつめる

過労死促進の「働かせ改悪」法。労働時間データの虚偽・ねつ造などウソで塗り固められた法案であることが明らかに。倉林

明子参院議員（厚生労働委員）は反対討論で「国民世論も過労死家族会の願いも踏みにじる法案は廃案に」と強く主張しました。

倉林氏

安保 イージス・アショア配備撤回を

本体1基だけで1340億円にのぼる陸上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」。配備予定の秋田、山口で批判が噴出しています。こくた恵二衆院議員、井上さ

とし参院議員はレーダー運用の際に発生する電磁波の影響に不安が広がっていることを指摘。北朝鮮情勢をめぐる対話の流れに逆行すると、配備撤回を求めました。

こくた・井上氏

選挙制度

自民党は国会終盤で突然、参院選挙制度改定案を単独で提出し強行しました。選挙区の合区で立候補できなくなる議員を救済するため、比例代表の中に政党が優先的に当選させる候補者の「特定枠」を導入するもの。

山下・井上氏 自民案の道理なき追及

山下よしき（党参院議員団長）、井上さとし（同幹事長）両参院議員は自民案の道理のなさを浮き彫りにし、全国10ブロックの比例代表制など抜本改革案を提案しました。

安倍暴走政治

忘れず、あきらめず選挙で審判を